

令和 7(2025)年度 国際文化研究科（修士課程）9 月入試
試験科目名：外国語

【出題の意図】

日本語教育に関する資料を的確かつ迅速に読解、理解できるかを問うとともに、日本語教育で議論される社会問題について日本語での確に意見を述べられるかを問うものです。

【解答例（参考例）】

[I] 次の文章の要旨を 200 字程度で書きなさい。

（参考例）

JICA などの推計によると、政府が目標とする経済成長を実現するには、2040 年に外国人労働者が 688 万人必要となるが、供給見通しは 591 万人にとどまり、97 万人不足する。前回推計より不足数は大幅に拡大し、背景にはアジア各国の成長鈍化や国際的な人材獲得競争の激化がある。来日者数を増やすことには限界があるため、受け入れ環境の整備や日本語教育の充実を通じ、外国人労働者の定着を促すことが重要な課題となっている。

[II] 次のテーマで、あなたの意見を 300 字程度で書きなさい。

「グローバル人材とは」

（参考例）

私が考えるグローバル人材とは、単に外国語が話せる人ではなく、異なる文化や価値観を理解し、尊重しながら他者と協働できる人である。国や地域によって常識や価値観は大きく異なるが、自分の考えを押し付けるのではなく、お互いに立場を尊重し、相手に柔軟に対応する姿勢が求められる。また、変化の激しい国際社会においては、自ら時代に即した課題を見つけ学び続ける力も重要である。新たな価値を創造できると同時に自らの文化を世界に発信できる人材が、真のグローバル人材だと考える。